

立命館大学技術士会 第6回総会

議 案 書

R

平成27年(2015年) 7月25日

(社)中央電気倶楽部215号室

13:00 ~ 17:00

立命館大学技術士会第6回総会議案

<第1号議案>

立命館大学技術士会第5期(2014年4月1日～2015年3月31日)事業報告

<第2号議案>

立命館大学技術士会第5期決算報告および監査報告

<第3号議案>

第6期事業計画(案)および予算(案)

<第4号議案>

第6, 7期役員人事(案):敬称略

<第1号議案>

立命館大学技術士会第5期(2014年4月1日～2015年3月31日)事業報告

(1) 会員拡大と組織強化

本会の基盤強化として、本会員、特別会員、準会員および賛助会員合計150以上を目標としたが、第5期末結果は、本会員150名(内退会13名)、特別会員1名、準会員1名および賛助会員4社の合計143であった。建設会と連携し会員拡大を図ったが、大きな成果には至っていない。建設会、建立会等のOB会を通じて、今後も拡大を図る必要がある。建設会報に、技術士懇談会、JABEE説明会の情報掲載を課題とする。合格者の入会を促進し、会員拡大を図る等、今後も組織強化を図る。

引き続き、会員拡大と組織強化を行っていく。

(2) 技術士試験受験への支援

H26年度技術士第二次試験受験支援は、2014年5月17日、7月12日の2回、受験支援講習を実施した。

口頭試験支援は、11月15日他で実施し、5名が合格した。

H27年度技術士第二次試験受験支援は、2015年3月14日、4月11日の2回、受験ガイダンスとして、申込書、部門と専門事項の整合を核に指導する講習会を実施した。

(3) 立命館大学への支援

大学の環境・都市系教室と連携した講義を実施した。

①環境システム工学科3回生(80名)対象に、技術者のキャリアを主体とした『第2回立命技術士懇談会』を7月17日BKCにて実施した。

プレゼンは、公務員、コンサル、ゼネコン各職種の職務と役割である。

懇談会後トリア中庭で、先生方および学生達と懇親交流会を開催した。

昨年に引き続き開催し、継続を確認できた。

②都市システム工学科2回生(80名)を対象に、『第3回立命技術士懇談会』を11月18日に実施した。

プレゼンは、環境システム工学科同様、各職種の職務と役割である。

懇談会の後に、都市システム工学科の先生方と懇親会を行った。

前年に引き続き開催し、継続を確認できた。

③環境システム工学科1回生を対象に、『JABEE認定制度と技術士資格に関する説明会』を12月18日に開催した。

JABEE制度を活かすには、取得した人達が技術士第二次試験に積極的にチャレンジすることが求められる。

以上の『立命技術士懇談会』及び『JABEE認定制度及び技術士資格に関する説明会』については、(公社)日本技術士会近畿支部及び建設会の後援を得て、実施している。

(4) 技術講演会および親睦会

会および会員相互の資質向上として講演会等を企画し、第5回総会時に FPD技術コンサルタント代表取締役寺内健一様より、「FPDの最新動向」の講演会を実施した。

交流懇親会は、11月15日に「モリシタ」にて開催した。

楠本幹事より、アメリカでの技術講演報告があった。

また若手技術者育成に、『土木！この素敵な仕事』（仮題）の出版に向けて、取り組んでいる。

(5) 会計基金を充実させ、事業企画を推進する

①技術士受験支援基金(受験講習イベント、講師謝礼等)、②講演会・交流企画基金(講演会イベント、交流会イベント等)、③大学支援・共同企画基金(JABEE支援、共同講演会企画等)の3種の基金を設け、各事業企画に応え、活用していくこととした。

次年度以降も更に資金の充実を図る。

<第2号議案>

立命館大学技術士会第5期決算報告および監査報告

(2014年 4月 1日～2015年3月31日)

決 算 報 告			
項 目	予 算	決 算	摘 要
(1) 収入			
①会費等収入	300,000	210,000	個人会費 (期末現在105名納入)
	50,000	40,000	賛助会費 (4社)
		41,000	寄付金(校友会ほか)
		4,060	総会、幹事会懇親残金等
		295,060	上記小計
②講習会収入	30,000	24,000	講習会参加費(延べ23名)
③復興支援金	-	22,000	交流懇親会にて
④その他	25,141	36	ゆうちょ銀行利息、その他
		46,036	上記小計
今期計		341,096	
⑤前期繰越金	194,859	194,859	前期残高合計
合計	600,000	535,955	
(2) 支出			
①通信事務費	30,000	26,834	通信費等
②受験支援等事務費	30,000	400	コピー代 受験支援活動
③会議費等	150,000	96,002	幹事会、講習会費 受験支援活動
④振替手数料	10,000	6,210	振込み手数料
⑤受検支援基金	200,000	-	前期積立済み
⑥講演交流基金	30,000	-	前期積立済み
⑦大学支援基金	30,000	150,000	今期積立開始
⑧予備費	120,000	79,216	大学支援関係 大学支援活動
		71,394	総会・交流会 会員活動
⑨復興支援金	-	22,000	校友会へ 大学支援活動
今期計	600,000	452,056	

立命館大学技術士会第5期会計収支決算

① 収入額	341,096	
② 支出額	452,056	
③ 前期繰越金	194,859	
収支合計 = ① - ② + ③	83,899	… 次期繰り越し金額

監 査 報 告

立命館大学技術士会第5期会計内容につき、通帳、金銭出納簿、領収証および入金書類を監査した結果、適正に処理、記載されていると認める。

以上

平成27年 5月 20日

立命館大学技術士会

会計監事 宮川 繁雄



会計監事 村山 稔



積立基金会計（ゆうちょ銀行）

預金名	預け年月日	預け金額	払戻(開始)年月日	年 利 率 %
定額貯金① 受検支援基金	26-03-27	¥150,000	26-09-27	0.04
定額貯金② 講演交流基金	26-03-27	¥150,000	26-09-27	0.04
定額貯金③ 大学支援基金	27-03-30	¥150,000	27-09-30	0.04
合 計		¥450,000		

* 定額貯金の利率は3年以上預けた場合の年利率である。
また満期時は10年経過となり、通常口座に振り替えられる予定です。

＜第3号議案＞
第6期事業計画(案)および予算(案)

＜事業計画(案)＞

(1) 会員拡大と組織強化

本会の組織基盤を確立するために、会員の拡大・増強を行い、正会員、特別会員、準会員および賛助会員の計200以上を目標に更に基盤構築を図る。

(2) 技術士試験受験への支援

既に開催した受験ガイダンスに続き、昨年同様5月16日、に第3回講習会、6月27日第4回講習会を実施している。今年度の試験実施が7月後半となり、第4回目を早めた。またH28年度受験については、これまで同様に3月と4月に受験ガイダンスを予定している。

筆記試験合格者の口頭試問支援として、11月14日に模擬口頭試験を予定している。

詳細は、HPにおいて掲載・募集する。

(3) 立命館大学への支援

昨年に引き続き、都市システム工学科および環境システム工学科の学生を対象に、『立命技術士懇談会』を企画する。

『第4回立命技術士懇談会』は、環境システム工学科3回生を対象に7月17日に開催を予定。『第5回立命技術士懇談会』は都市システム工学科2回生を対象に、後期授業で開催を予定。

また、『JABEE制度と技術士制度の説明会』は、環境システム工学科1回生を対象に後期授業で予定する。

これらを核に、大学支援を環境・都市系教室と連携して図っていく。

さらに、学生支援の一環として、今後の技術者のあり方を核に『土木！この素敵な仕事』(仮題)の出版を実現する。

近々に出版(WEB公開)の予定である。

なお『立命技術士懇談会』は、(公社)日本技術士会近畿支部及び建設会の後援をいただき、実施している。

(4) 技術講演会および親睦会

総会時の講演を実施し、大学との連携講演を企画する。

また交流懇親会は、継続して実施し、幅広い交流へと企画していく。

また『土木！この素敵な仕事』(仮題)の出版は、技術者を目指す学生および一般若手技術者への啓発を基本し、電子書籍としての出版を予定している。出版を通じて、魅力ある国づくりへ技術士活動における社会活動を前進させる。

<予 算(案)>

① 収 入

(1) 会費等	本・特別・準会員	300,000
	賛助会員	50,000
	その他	50,000
(2) 講習会等		35,000
(3) 復興支援金		20,000
(4) その他		1,101
(5) 前期繰越金		83,899
合 計		540,000

② 支 出

(1) 会員技術研修等支援活動費		115,000
(2) 大学教育支援活動費		105,000
(3) 技術士試験受験支援活動費		100,000
(4) その他活動費(復興支援金等)		20,000
(5) 通信事務費		30,000
(6) 会費振込手数料		10,000
上計計		380,000
(7) 基金(3活動基金)		150,000
(8) 予備費		10,000
合 計		540,000

積立基金会計(ゆうちょ銀行)

預金名	預け年月日	預け金額	払戻(開始)年月日	年 利 率 %
定額貯金① 受検支援基金	26-03-27	¥150,000	26-09-27	0.04
定額貯金② 講演交流基金	26-03-27	¥150,000	26-09-27	0.04
定額貯金③ 大学支援基金	27-03-30	¥150,000	27-09-30	0.04
定額貯金④ 3活動基金	28-03-31	¥150,000	28-09-31	0.04
合 計		¥600,000		

*定額貯金④が今期の基金予定額である。

*定額貯金の利率は3年以上預けた場合の年利率である。

また満期時は10年経過となり、通常口座に振り替えられる予定です。

<第4号議案>

第6、7期役員人事(案):敬称略

役職名	氏名 (敬称略)	卒業年	部門
会長 (1名)	大森 秀高	S 50	建設
副会長 (6名程度)	南側 晃一	S 53	建設
	楠本 博	S 54	建設
	土屋 光弘	S 58	建設
	橋口 正悟	H 15院	建設
幹事 (20名以内)	大森 秀高 留任	S 50	建設
	糸田川 廣志 留任	S 47	上下水道
	南側 晃一 留任	S 53	建設
	西村 敏 留任	S 54	上下水道
	楠本 博 留任	S 54	建設
	日室 伸一 留任	S 54	上下水道
	吉田 順一郎 留任	S 55	建設
	土屋 光弘 留任	S 58	建設
	星野 和之 新任	H 03	建設
	青山 裕之 留任	H 05	建設
	太田 和夫 留任	H 05	建設
	今井 豊 留任	H 08	上下水道
	今道 洋 再任	H 13院	上下水道
	長谷川 真也 留任	H 13	建設
	橋口 正悟 留任	H 15院	建設
服部 亘啓 留任	H 17院	建設	
幹事長	糸田川 廣志 留任	S 47	上下水道
会計監事 (2名)	宮川 繁雄 留任	S 46	上下水道
	村山 稔 留任	S 49	建設

幹事及び監事以外の役員

役職名	氏名 (敬称略)	摘要
顧問	児島 孝之 山田 淳 田中 伊三雄	
相談役	奥村 一 大田 淳之 岸田 順三 渡邊 郁夫	